産学連携・スタートアップアドバイザー（プロジェクト伴走型支援）派遣申込書

記載年月日：令和　　年　　月　　日

**〔基本情報〕**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １．大学の名称 | | | | |  | |
| ２．大学の長（職・氏名）  （法人の長でも可とします。） | | | | |  | |
| ３．産学連携組織等申込組織  （担当者には本派遣申込書の記載内容に関する問い合わせに対応できる方を記載ねがいます。） | 名称 | | | |  | |
| 責任者 | 所属 | | |  | |
| 役職 | | |  | |
| 氏名 | | |  | |
| 担当者 | 所属 | | |  | |
| 役職 | | |  | |
| 氏名 | | |  | |
| 住所 | | | 〒 | |
| 電話番号 | | |  | |
| E-mail | | |  | |
| ４．支援を希望する産学連携プロジェクト名（以下、本プロジェクトと表記） | | | | | 〔例１〕○○○技術を基盤とする△△△の開発プロジェクト  〔例２〕△△△事業を行う大学発スタートアップによる▲▲▲の事業化プロジェクト | |
| ５．大学における本プロジェクトの責任者（プロジェクトリーダー） | | 所属 | | | 理工学部 | |
| 役職 | | | 教授 | |
| 氏名 | | |  | |
| 住所  （大学における住所を記載ねがいます。大学住所と同じでも可。） | | | 〒 | |
| 電話番号  （大学における電話番号を記載ねがいます。） | | |  | |
| E-mail | | |  | |
| ６．本プロジェクトにおいて事業化を主体的に推進するパートナー企業①の情報  （法人格取得を目指して準備中の場合、名称・所在地・事業内容は予定の情報を記載。代表者は起業責任者を記載）  選考基準⑤関連 | | 名称 | | | 〔例〕○○○○○株式会社 | |
| 住所 | | | 〒 | |
| 事業内容 | | | 〔例１〕自動車用精密加工部品の製造  〔例２〕医療器具の製造・販売 | |
| 代表者 | | |  | |
| 資本金 | | |  | |
| 常時使用する従業員数 | | | (資本金10億円以下又は従業員数300人以下が応募の要件です。) | |
| 本プロジェクトにおける位置づけ | | | 〔例１〕販売を担当  〔例２〕△△△の製造を担当  〔例３〕製造・販売を担当 | |
| 本プロジェクトを担当する責任者 | 所属 | |  | |
| 役職 | |  | |
| 氏名 | |  | |
| 住所  （企業における住所を記載ねがいます。企業住所と同じでも可。） | | 〒 | |
| 電話番号  （企業における住所を記載ねがいます。） | |  | |
| E-mail | |  | |
| ７．関係図（以下のフォームを使い、事業化達成時点を想定して記載ねがいます。）  C社  (VC)  パートナー企業  (大学発スタートアップ)  公的機関Z  (・・支援事業)  ●●大学  (●●教授)  資金 提供  ○○大学  (○○教授)  サブライセンス  付きライセンス  顧客  販売  販売  (株)□□  (□□代表取締役)  共同研究  B社  ◆◆企業  △△大学  (△△准教授)  Web販売  製造 委託  個人ユーザー  A社 | | | | | | |
| 機関名 | | | | 担当者 | | 本プロジェクト内での位置づけ |
| ○○大学 | | | | ○○ 教授 | | ○○技術の開発 |
| （株）□□ | | | | □□ 代表取締役 | | 主たるパートナー企業 |
| ●●大学 | | | | ●●教授 | | ・・・の共同研究 |
| △△大学 | | | | △△准教授 | | ・・・の共同研究 |
| Ａ社 | | | | ・・・・ | | ○○○の製作を委託 |
| Ｂ社 | | | | ・・・・ | | ・・・・の販売代理店 |
| Ｃ社（ＶＣ） | | | | ・・・・ | | 資金提供 |
| 公的機関Ｚ | | | | ・・・・ | | ××事業による××の支援 |

**〔支援を希望する産学連携プロジェクトに関する詳細情報〕**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ９．本プロジェクトのベースとなった研究開発の情報  応募の要件②関連 | 1)これまでの研究開発の経緯及び成果の概要 | 〔例示〕  20XX年○○月　研究開発開始  20XX年○○月　○○○用機能性添加剤に使う□□□□を△△からの抽出に成功  20XX年○○月　△から抽出した□□□□の評価により、新規の機能性を発見  20XX年○○月　○○○を製造・販売するＺ社に△△より抽出した□□□□□のサンプル評価を依頼した結果、新規の機能性に高評価  20XX年○○月　×××に採択され新たな研究開発資金を獲得  20XX年○○月　□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術を開発中  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。 | |
| 2)知的財産の出願・権利化の状況（外国出願も含む。） | 〔例示〕  ・特許第XXXXX号（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称１」出願人／権利者  ・特願2016-XXXXX（2016年XX月XX日出願）  　⇒特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日国内優先権主張出願）「発明の名称２」出願人／権利者  ・特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日出願）  　⇒PCT/JP20XX/XXXXX（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称３」出願人／権利者  ・特願2018-XXXXX（2018年XX月XX日出願）「発明の名称４」出願人／権利者  ・意匠登録XXXXX号（20XX年XX月XX日登録）「意匠に係る物品１」出願人／意匠権者  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。  　　特許公報発行後は特許番号、発行前は出願番号で記載してください（公開番号では記載しない。）。 | |
| 10．プロジェクトの概要 | 1)背景 | プロジェクトの背景となっている従来製品/サービスの問題点・課題等を記載してください。 | |
| 〔例示1〕  ・□□□は、○○に対して有用であるが、抽出の効率が悪いため高価であり、一般的にはあまり使われていなかった。  〔例示2〕  ・△△△は、××性能は優れているが安全性に問題があり、安全対策に費用とスペースが必要であった。 | |
| 2)これまでの研究開発や産学連携活動のポイント  選考基準②関連 | 従来製品/サービスの問題点・課題を解決するために行ってきたこれまでの研究開発や産学連携活動のポイントを記載してください。 | |
| 〔例示〕  ・□□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術（ラボレベル）をZZZZ年までに開発  ・社会実装のためのパートナー企業を探索し、展示会でコンタクトしてきたＢ社を選定  ・Ｂ社と事業化に向けた共同研究を行う中で、抽出した□□□□□をＢ社で評価し、○○に関する有用性を確認 | |
| 3)事業化のための残課題  選考基準②関連 | 事業化を達成するための研究開発及び産学連携活動における残課題を記載してください。 | |
| 〔例示〕  ・実験室レベルでは目標性能を達成しているが、パートナー企業における量産での目標性能達成のための開発がこれからである。  ・また、ビジネスモデルの概要は決まっているが、パートナー企業における収益計算を含めた事業計画の立案はこれからである。 | |
| 4)事業化の考え方  選考基準①(社会実装の実現性)＆②関連 | 事業化のための残課題の解決シナリオ、事業化構想、事業化までのロードマップ等を記載してください（ロードマップは必須）。ロードマップには、最終の製品/サービスに結びつく最終的なプロトタイプの完成予定時期と販売開始予定時期を必ず記載してください。 | |
| 〔例示１〕  ・本プロジェクトに参画するＡ社が高効率抽出装置（量産レベル）を20YY年末までに開発を完了  ・Ａ社から、△△から抽出した□□□の製造・販売を20XX年Z月開始  〔例示２〕  ・20ZZ年X月にスタートアップを設立し、大学とサブライセンス権付きの特許ライセンス契約を締結  ・スタートアップが大学の支援を受けつつ地域企業Ａ社に発注して高効率抽出装置（量産レベル）を開発し、20YY年Z月に最終的なプロトタイプを完成  ・スタートアップから地域企業A社に製造委託し、Ｂ社、Ｃ社等に□□□を販売開始（20XX年初を想定） | |
| 5)本プロジェクトの推進のために確保している資金  選考基準④関連 | 企業との共同研究契約で提供される資金、公的資金、ＶＣからの資金調達等（確保に明確な見通しがある資金含む）、プロジェクト推進に必要な資金が確保されている旨を記載ねがいます。 | |
| 〔例示１〕  202X年度のA-Step採択により、202Y年度までにZZZZ円の予算を獲得している。  〔例示２〕  パートナー企業（XX社）との共同研究により、同社より202Y年度末までにZZZZ円の研究費が確保されている。 | |
| 6)他事業からの支援の有無  選考基準⑦関連 | 他事業からの支援（資金を含む。）を受けている場合には記載ねがいます。 | |
| 〔例示〕  202X年度、JTSのSTARTに採択され、支援を受けている。 | |
| 11．ビジネスモデルの視点 | 1)想定している顧客（層）とニーズ  選考基準②関連 | 想定している顧客（層）とニーズを具体的かつ限定的に記載してください。その中で最初にターゲットとする顧客があれば明確にしてください。  直接の顧客（1次顧客）の先に最終顧客がいる場合には、その両方を分かるように記載してください。 | |
| 〔例示〕  ・繊維を傷めずに襟・袖の汚れを落としたい主婦、一人暮らしの男性 | |
| 2)顧客に提供する価値  選考基準②関連 | 顧客に提供する価値(優位性)を記載してください。特にその価値を提供するための新規なソリューションも記載してください。 | |
| 〔例示〕  ・新たに開発したXXを助剤として使用することにより予め汚れを浮き上がらせて洗い流すことが可能 | |
| 3)顧客に価値を提供することによる収入（売上）  選考基準①(経済的波及効果)＆②関連 | 顧客に価値を提供することにより得られる収入を記載してください。  収入のアイテムとその販売計画（販売開始時期、少なくとも販売開始後3年目までの計画）を根拠とともに記載してください。 | |
| 〔例示〕  ・洗剤の製品代（市場規模：年間××千円）20XX年Y月販売開始、初年度売上○○千円（シェア●％）  2年目売上△△千円（シェア◆％）  3年目売上□□千円（シェア▲％） | |
| 12．本プロジェクトによる事業化が社会や経済に与える影響及び波及効果  選考基準①(経済的波及効果・社会的インパクト)関連 | |  | |
| 13．本プロジェクト推進や知的財産活用のための考え方  選考基準③関連 | | 社会実装への考え方、事業化のための知的財産活用に関する課題認識等を記載ねがいます。大学における本プロジェクトの責任者とパートナー企業の責任者がそれぞれの考え方を記載ねがいます。 | |
| 本プロジェクトの責任者 |  |
| パートナー企業の責任者 |  |
| 14．産学連携・スタートアップアドバイザーの必要性  選考基準⑦関連 | | 産学連携・スタートアップアドバイザーの派遣を申請する背景、産学連携・スタートアップアドバイザーに期待すること、等を記載ねがいます。 | |
|  | |

**〔産学連携・スタートアップADの活動基盤に関する大学の支援環境〕**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 15．産学連携支援体制  選考基準⑤関連 | 体制図等により、大学の産学連携組織と本プロジェクトの担当者が分かるように記載ねがいます。 | | |
|  | | |
| 16．産学連携・スタートアップADの活動を円滑に行うための環境整備  選考基準⑥関連 | 産学連携・スタートアップＡＤの学内における身分（予定） | | 〔例示〕客員教授 |
| インフラの利用 | | |
|  | 業務用の机と椅子の貸与 |  |
| 業務用のコピー機・文具等の利用 |  |
| 大学のインターネット回線利用  （ＰＣの利用も含む。） |  |
| 大学が契約している学術データベース等の利用 |  |
| 大学保有の宿舎等の利用 |  |
| 学内会議への参画 | | |
|  | 発明評価委員会（相当の会議を含む。） |  |
| その他 | △△会議 |

〔注１〕説明図、報道記事、その他の参考となる資料等を３枚まで添付することができます。

〔注２〕ピンク色の文字は、例示又は注意書きとして記載しています。

ピンク色の文字のうち、申込に必要な情報については必ず黒色に変更してください。

ピンク色の文字のうち、申込に不要な情報は削除してください。

**【アンケートへのご協力をお願いします（選考には関係ありません）】（任意）**

**Ｑ．「産学連携・スタートアップアドバイザー派遣事業」を知ったきっかけについて教えてください。（複数回答可）**









　（具体名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）



　（具体名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）



　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**ご協力ありがとうございました。**